

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成25年11月13日

【四半期会計期間】 第92期第2四半期(自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日)

【会社名】 株式会社オーバル

【英訳名】 OVAL Corporation

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 谷 本 淳

【本店の所在の場所】 東京都新宿区上落合三丁目10番8号

【電話番号】 (03)3360 - 5061

【事務連絡者氏名】 取締役兼常務執行役員管理部門部長 昨 間 英 之

【最寄りの連絡場所】 東京都新宿区上落合三丁目10番8号

【電話番号】 (03)3360 - 5061

【事務連絡者氏名】 取締役兼常務執行役員管理部門部長 昨 間 英 之

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第91期 第2四半期 連結累計期間	第92期 第2四半期 連結累計期間	第91期
会計期間	自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日	自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日	自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日
売上高 (千円)	5,745,998	5,068,986	11,999,522
経常利益 (千円)	93,443	29,944	469,346
四半期(当期)純利益又は四半期 純損失() (千円)	16,729	60,759	226,292
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	4,727	264,731	502,680
純資産額 (千円)	10,841,092	11,489,635	11,329,467
総資産額 (千円)	18,660,040	18,882,307	18,737,930
1株当たり四半期(当期)純利益 金額又は1株当たり四半期純損 失金額() (円)	0.75	2.71	10.10
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額 (円)			
自己資本比率 (%)	56.9	59.2	59.0
営業活動による キャッシュ・フロー (千円)	43,951	363,862	636,890
投資活動による キャッシュ・フロー (千円)	136,672	147,853	232,626
財務活動による キャッシュ・フロー (千円)	227,438	219,886	346,162
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (千円)	1,947,509	2,532,255	2,425,871

回次	第91期 第2四半期 連結会計期間	第92期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自 平成24年7月1日 至 平成24年9月30日	自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日
1株当たり四半期純利益金額又は 1株当たり四半期純損失金額() (円)	0.73	2.00

- (注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
- 2 売上高には、消費税等は含まれておりません。
- 3 第91期第2四半期連結累計期間及び第91期の潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため、第92期第2四半期連結累計期間は、1株当たり四半期純損失であり、また潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当企業グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」について重要な変更はありません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当企業グループ(当社及び当社の関係会社)が判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や日本銀行の大胆な金融緩和に対する期待などを受けて、株高の進行や円高の是正などをはじめ景気に緩やかな回復の動きが見られたものの、海外景気の下ぶれ懸念等もあり、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような経営環境の下、当企業グループは、当連結会計年度を4年目とする中期経営計画「OVAL PHOENIX PLAN 2015」に掲げた、海外システムビジネスの拡大、液化天然ガス(LNG)及び新エネルギー市場への展開等の諸戦略を推進してまいりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の受注高は6,122百万円で前年同四半期に比べ8.0%増加したものの、売上高は5,068百万円で前年同四半期に比べ11.8%の減収、利益面では営業損失は21百万円(前年同四半期は営業利益62百万円)、経常利益は29百万円(前年同四半期比68.0%減)、四半期純損失は60百万円(前年同四半期は四半期純利益16百万円)となりました。

事業部門別の状況については、次のとおりであります。

(センサ部門)

国内での設備投資減少等の影響等により当部門の受注高は前年同四半期比6.2%減の3,193百万円、売上高は前年同四半期比6.5%減の3,116百万円となりました。

(システム部門)

受注高は海外大口案件の受注により、前年同四半期比65.1%増の1,751百万円となりましたが、工期の長い案件であり、売上高は前年同四半期比32.0%減の809百万円となりました。

(サービス部門)

顧客からのメンテナンス依頼はほぼ横ばいとなり、受注高は前年同四半期比1.9%減の1,166百万円、売上高は前年同四半期比6.3%減の1,132百万円となりました。

(その他の部門)

受注高、売上高共に前年同四半期比11.6%減の10百万円となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度末に比べ106百万円増加し、2,532百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、得られた資金は363百万円(前年同四半期は43百万円の収入)となりました。これは主に、減価償却費153百万円、売上債権の減少527百万円により資金が増加した一方で、たな卸資産の増加52百万円、仕入債務の減少55百万円、未払金の減少112百万円、法人税等の支払73百万円により資金が減少したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、支出した資金は147百万円(前年同四半期は136百万円の支出)となりました。これは主に、定期預金の預入による支出71百万円、有形固定資産の取得による支出73百万円により資金が減少したことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、支出した資金は219百万円(前年同四半期は227百万円の支出)となりました。これは主に、長期借入れによる収入100百万円により資金が増加した一方で、短期借入金の純減少額36百万円、長期借入金の返済による支出155百万円、配当金の支払額112百万円により資金が減少したことによるものであります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(4) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間の研究開発費の総額は340百万円であります。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	80,000,000
計	80,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成25年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成25年11月13日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	26,180,000	26,180,000	東京証券取引所 (市場第二部)	単元株式数は 100株であります。
計	26,180,000	26,180,000		

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (千株)	発行済株式 総数残高 (千株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成25年9月30日		26,180		2,200,000		550,000

(6) 【大株主の状況】

平成25年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
明治安田生命保険相互会社 (常任代理人 資産管理サービス信託 銀行株式会社)	東京都千代田区丸の内2の1の1 (東京都中央区晴海1の8の12)	1,900	7.25
東京計器株式会社	東京都大田区南蒲田2の16の46	1,309	5.00
轟産業株式会社	福井県福井市毛矢3の2の4	1,071	4.09
日本生命保険相互会社	東京都千代田区丸の内1の6の6	777	2.97
横河電機株式会社	東京都武蔵野市中町2の9の32	512	1.95
株式会社みずほ銀行 (常任代理人 資産管理サービス信託 銀行株式会社)	東京都千代田区丸の内1の3の3 (東京都中央区晴海1の8の12)	450	1.71
株式会社損害保険ジャパン (常任代理人 資産管理サービス信託 銀行株式会社)	東京都新宿区西新宿1の26の1 (東京都中央区晴海1の8の12)	422	1.61
加 島 淳一郎	神奈川県藤沢市	355	1.35
公益財団法人 井上育英会	東京都千代田区平河町1の4の12	300	1.14
オーバル持株会	東京都新宿区上落合3の10の8	260	0.99
計		7,358	28.10

- (注) 1 所有株式数及びその割合の表示は単位未満を切り捨てて表示しております。
2 上記、株式会社みずほ銀行は、平成25年7月1日に株式会社みずほコーポレート銀行と合併しております。
3 当社は3,775千株(発行済株式総数に対する所有株式数の割合14.42%)の普通株式を自己株式として所有しております。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成25年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 3,775,500		
完全議決権株式(その他)	普通株式 22,394,000	223,940	
単元未満株式	普通株式 10,500		
発行済株式総数	26,180,000		
総株主の議決権		223,940	

- (注) 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式57株が含まれております。

【自己株式等】

平成25年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社オーバル	東京都新宿区上落合 三丁目10番8号	3,775,500		3,775,500	14.42
計		3,775,500		3,775,500	14.42

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(平成25年7月1日から平成25年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、至誠監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,506,791	2,684,807
受取手形及び売掛金	² 5,000,223	4,610,083
商品及び製品	429,329	463,771
仕掛品	207,638	230,069
原材料及び貯蔵品	1,109,520	1,123,043
その他	334,955	316,985
貸倒引当金	4,160	4,083
流動資産合計	9,584,297	9,424,678
固定資産		
有形固定資産		
土地	5,576,858	5,577,893
その他(純額)	1,788,534	1,926,140
有形固定資産合計	7,365,393	7,504,033
無形固定資産	155,568	161,957
投資その他の資産		
その他	1,642,781	1,801,821
貸倒引当金	10,110	10,183
投資その他の資産合計	1,632,671	1,791,638
固定資産合計	9,153,632	9,457,629
資産合計	18,737,930	18,882,307

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	² 1,061,284	1,055,671
短期借入金	1,256,897	1,258,435
未払法人税等	74,191	47,206
賞与引当金	256,268	212,000
損害賠償損失引当金	-	36,500
その他	874,801	831,400
流動負債合計	3,523,442	3,441,214
固定負債		
長期借入金	380,783	362,035
再評価に係る繰延税金負債	1,761,864	1,761,864
退職給付引当金	1,337,452	1,386,631
役員退職慰労引当金	49,484	24,381
環境対策引当金	13,801	13,801
資産除去債務	21,676	21,733
その他	319,957	381,008
固定負債合計	3,885,020	3,951,457
負債合計	7,408,462	7,392,672
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,200,000	2,200,000
資本剰余金	2,124,989	2,124,989
利益剰余金	3,900,429	3,727,648
自己株式	402,864	402,864
株主資本合計	7,822,555	7,649,773
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	110,144	212,516
土地再評価差額金	3,107,332	3,107,332
為替換算調整勘定	14,792	205,955
その他の包括利益累計額合計	3,232,269	3,525,804
少数株主持分	274,642	314,057
純資産合計	11,329,467	11,489,635
負債純資産合計	18,737,930	18,882,307

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】
【四半期連結損益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	5,745,998	5,068,986
売上原価	3,827,928	3,255,274
売上総利益	1,918,069	1,813,712
販売費及び一般管理費	¹ 1,855,433	¹ 1,835,250
営業利益又は営業損失()	62,636	21,537
営業外収益		
受取利息	2,167	3,505
受取配当金	6,362	6,355
持分法による投資利益	7,715	876
受取賃貸料	8,071	7,409
為替差益	-	18,255
保険返戻金	26,950	15,617
貸倒引当金戻入額	-	411
その他	18,587	12,024
営業外収益合計	69,855	64,455
営業外費用		
支払利息	11,440	11,112
為替差損	25,179	-
その他	2,428	1,860
営業外費用合計	39,048	12,973
経常利益	93,443	29,944
特別利益		
有形固定資産売却益	164	9
特別利益合計	164	9
特別損失		
有形固定資産除却損	352	57
損害賠償損失引当金繰入額	-	36,500
特別損失合計	352	36,557
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失()	93,255	6,603
法人税、住民税及び事業税	41,228	54,320
過年度法人税等	1,458	10,322
法人税等調整額	14,454	2,388
法人税等合計	54,224	46,386
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失()	39,030	52,989
少数株主利益	22,300	7,770
四半期純利益又は四半期純損失()	16,729	60,759

【四半期連結包括利益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失()	39,030	52,989
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	58,033	102,371
繰延ヘッジ損益	873	-
為替換算調整勘定	23,115	214,975
持分法適用会社に対する持分相当額	259	374
その他の包括利益合計	34,303	317,721
四半期包括利益	4,727	264,731
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	21,283	232,774
少数株主に係る四半期包括利益	26,010	31,957

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失()	93,255	6,603
減価償却費	147,268	153,999
固定資産売却損益(は益)	164	9
固定資産除却損	352	57
貸倒引当金の増減額(は減少)	265	411
賞与引当金の増減額(は減少)	25,895	46,107
退職給付引当金の増減額(は減少)	1,923	47,489
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	3,965	26,313
受取利息及び受取配当金	8,529	9,861
支払利息	11,440	11,112
為替差損益(は益)	2,070	95
持分法による投資損益(は益)	7,715	876
売上債権の増減額(は増加)	447,229	527,958
たな卸資産の増減額(は増加)	278,434	52,427
仕入債務の増減額(は減少)	84,364	55,050
未払金の増減額(は減少)	70,992	112,368
その他	279,023	7,299
小計	105,459	437,981
利息及び配当金の受取額	8,671	10,643
利息の支払額	11,659	10,820
法人税等の支払額又は還付額(は支払)	58,520	73,940
営業活動によるキャッシュ・フロー	43,951	363,862
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	25,041	71,906
定期預金の払戻による収入	25,038	2,544
有形固定資産の取得による支出	110,938	73,577
有形固定資産の売却による収入	453	10
無形固定資産の取得による支出	27,645	14,787
投資有価証券の取得による支出	99	113
投資有価証券の償還による収入	1,248	-
関係会社の清算による収入	3,343	-
貸付けによる支出	2,163	2,788
貸付金の回収による収入	1,432	2,095
その他	2,301	10,669
投資活動によるキャッシュ・フロー	136,672	147,853

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（は減少）	32,666	36,304
長期借入れによる収入	-	100,000
長期借入金の返済による支出	126,935	155,142
リース債務の返済による支出	20,137	22,261
配当金の支払額	112,022	112,022
少数株主からの払込みによる収入	-	8,977
少数株主への配当金の支払額	1,010	3,133
財務活動によるキャッシュ・フロー	227,438	219,886
現金及び現金同等物に係る換算差額	4,671	110,261
現金及び現金同等物の増減額（は減少）	315,488	106,384
現金及び現金同等物の期首残高	2,262,998	2,425,871
現金及び現金同等物の四半期末残高	¹ 1,947,509	¹ 2,532,255

【注記事項】

(追加情報)

当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	
(損害賠償損失引当金)	
第1四半期連結会計期間より、損害賠償請求に伴う今後の損失に備えるため、その交渉経過等に基づき当社が負担することとなる損失を見積り、必要と認められる額を計上いたしました。	
この結果、税金等調整前四半期純利益が、36,500千円減少しております。	

(四半期連結貸借対照表関係)

1 保証債務

連結会社以外の会社の銀行借入等に対し、債務保証を行っております。

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
OVAL THAILAND CO.,LTD.	26,374千円 (THB 8,200千)	20,909千円 (THB 6,700千)
OVAL OIL & GAS SDN BHD	60,111千円 (USD 638千)	47,634千円 (USD 488千)
合計	86,485千円	68,544千円

- 2 四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、満期日に決済が行われたものとして処理しております。なお、前連結会計年度末日が金融機関の休日であったため、次の連結会計年度末日満期手形を満期日に決済が行われたものとして処理しております。

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
受取手形	75,479千円	
支払手形	91,785 "	

(四半期連結損益計算書関係)

- 1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目および金額は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
給与・賞与	542,402千円	573,496千円
賞与引当金繰入	69,439 "	59,029 "
退職給付引当金繰入額	37,019 "	30,684 "
研究開発費	378,421 "	336,800 "

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

- 1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
現金及び預金	1,985,151千円	2,684,807千円
預入期間が3か月を超える定期預金	37,641 "	152,552 "
現金及び現金同等物	1,947,509 "	2,532,255 "

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月27日 定時株主総会	普通株式	112,022	5.0	平成24年3月31日	平成24年6月28日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月26日 定時株主総会	普通株式	112,022	5.0	平成25年3月31日	平成25年6月27日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当企業グループは、計測機器等の製造・販売事業の他に、保険代理業務及び不動産賃貸業務がありますが、重要性が乏しいことからセグメント情報については記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、次のとおりであります。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額()	0円75銭	2円71銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額又は四半期純損失金額()(千円)	16,729	60,759
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益金額又は四半期純損失金額()(千円)	16,729	60,759
普通株式の期中平均株式数(千株)	22,404	22,404

(注) 前第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため、当第2四半期連結累計期間は、1株当たり四半期純損失であり、また潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年11月12日

株式会社 オーバル
取締役会 御中

至誠監査法人

代表社員
業務執行社員 公認会計士 立 田 三 彦 印

代表社員
業務執行社員 公認会計士 吉 原 浩 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社オーバルの平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社オーバル及び連結子会社の平成25年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。
以 上

- (注) 1．上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2．四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。